

静岡地域中心市街地来街者調査概要

調査日時 2019年11月24日(日)10:00~17:00

調査地点 全10地点

- ◆駅ビル パルシエ前
- ◆静岡東急スクエア前
- ◆静岡伊勢丹前
- ◆静岡パルコ前
- ◆松坂屋静岡店前
- ◆新静岡セノバ前
- ◆静岡マルイ・モディ前
- ◆紺屋町商店街(クーポール会館前)
- ◆呉服町商店街 (SANADAYA[真田屋]前)
- ◆七間町商店街 (静岡北ワシントンホテルプラザ前)

調査方法 来街者に対する面接アンケート方式

回答者数 600人(各地点60人) 男性 37.5% 女性 62.5%
市内 70.0% 市外 30.0%

住所別区分

住所地		割合(%)
静岡市	葵 区	36.7
	駿河区	22.8
	清水区	10.5
焼津・藤枝・島田・富士市		16.2
その他県内外		13.8

「自動車」が最も多く、次に「JR東海」となり、前年度同様であった。
来街の主な交通手段は、全体では「JR東海」が最多

来街頻度						
順位	1位	割合(%)	2位	割合(%)	3位	割合(%)
全体	月1~2回	33.2	週1~2回	27.7	ほぼ毎日	18.5
市内	週1~2回	36.9	月1~2回	31.0	ほぼ毎日	24.3
市外	月1~2回	38.4	2~3ヶ月に1回	28.3	ほとんど来ない	16.1

街へ来る頻度は?

市内・市外別にみると、市内からは「バス」「自動車」「徒歩」「自動車」の順で、市外からは「JR東海」「自動車」「バス」の順で利用が多かった。(表1)

来街交通手段						
順位	1位	割合(%)	2位	割合(%)	3位	割合(%)
全体	自動車	24.5	JR東海	24.2	バス	17.2
市内	バス	23.6	徒歩	19.8	自動車	18.8
市外	JR東海	58.9	自動車	37.8	バス	2.1

街へ来る交通手段は?

来街の主な交通手段は、全体では「JR東海」が最多

回答者の住所を市内・市外別にみると、市内では「週1~2回」と「月1~2回」、市外では「月1~2回」と「月2~3ヶ月に1回」で6割強を占めた。(表2)

来街場所・目的地 [複数回答]						
区分	割合(%)	区分	割合(%)	区分	割合(%)	
商店街	吳服町商店街	16.3	新静岡セノバ	48.2	公園	5.2
	七間町商店街	7.3	静岡パルコ	25.0	文化施設	3.3
	紺屋町商店街	4.5	駅ビル パルシエ	22.8	病院	0.5
	御幸町商店街	2.2	静岡伊勢丹	19.8	その他	4.2
大型店						
大型店では「吳服町商店街」、大型店では「新静岡セノバ」が最多						

来街者の目的地(複数回答)は、商店街では例年同様「吳服町商店街」が最も多く、次に「七間町商店街」「紺屋町商店街」の順であった。

来街場所・目的地は?

大型店では「吳服町商店街」、大型店では「新静岡セノバ」が最多

なお、「新静岡セノバ」は、回答者の住所を市内・市外別にみても最も多かった。また、年代別でも最も10代から70代以上まで幅広い層から支持を集めている。

中心市街地を訪れる目的は?

全体の約7割が「買物」「買物の内容は約4割が「衣料品」

来街の目的は「買物」が最も多く、次に「飲食」「散策」「イベント」「映画」「その他」の順であった。

「その他」の内容は、仕事、勉強、習い事などであった。(表4)

来街の目的が「買物」と回答した人に、その内容(購入品目)を尋ねたところ「衣料品」が約4割で最も多く、以下「食料品」「書籍」であった。(表5)

大型店では「新静岡セノバ」が4割強を占め、オーブンした2011(H23)年度から9年連続で第1位となつた。次いで「静岡パルコ」「駅ビルパルシエ」「静岡伊勢丹」の順であった。(表3)

大型店では「新静岡セノバ」が4割強を占め、オーブンした2011(H23)年度から9年連続で第1位となつた。次いで「静岡パルコ」「駅ビルパルシエ」「静岡伊勢丹」の順であった。(表3)

買物・飲食の予算額	
予算額	割合(%)
3千円未満	35.5
3千円～5千円未満	24.2
5千円～1万円未満	21.0
1万円～2万円未満	12.2
2万円～3万円未満	4.1
3万円～5万円未満	1.5
5万円～10万円未満	1.0
10万円以上	0.5

買物・飲食での予算額は「3千円未満」が平成21年度以降引き続き最も多く、次に「3千円～5千円未満」の順で1万円未満が80.7%を占めている。(表6)

なお、回答者を年代別にみると、10代から70代以上までの各年代とも「3千円未満」が最も多かった。

買物・飲食での予算は?	
「1万円未満」が8割以上	

買物の内容	
順位	購入品目
1	衣料品
2	食料品
3	書籍・文具
4	化粧品・医薬品
5	家庭用品
	カバン・履物

来街目的	
順位	内容
1	買物
2	飲食
3	散策
4	イベント
5	映画
－	その他

満足(「満足」+「やや満足」)が約6割	
中心市街地でのお買物・サービスの機能については?	

中心市街地でのお買物・サービスの機能については?	
満足(「満足」+「やや満足」)が約6割	

滞在時間	
区分	割合(%)
1時間未満	6.5
1時間～2時間未満	20.5
2時間～3時間未満	34.7
3時間～5時間未満	26.8
5時間～7時間未満	7.2
7時間以上	4.3

中心市街地での滞在時間は「2時間～3時間未満」が34.7%で平成18年度以降引き続き最も多く、以下「3時間～5時間未満」26.8%、「1時間～2時間未満」20.5%の順となっている。また、合わせて約6割が3時間未満となた。(表7)

中心市街地での滞在時間は?

「2時間～3時間未満」が最多

中心市街地でのお買物やサービスの機能については、「満足(「満足」+「やや満足」)が約6割」と「やや満足」(やや満足)している点は「品揃え」が53.2%で最も多く、次に「接客・サービス」32.2%、「商品のオリジナル性」18.8%の順であった。(表8)

不満(やや不満)な点	
順位	内容
1	品揃え
2	接客・サービス
3	商品のオリジナル性
4	気軽にお店に入る雰囲気
－	その他

満足(やや満足)している点	
順位	内容
1	品揃え
2	接客・サービス
3	気軽にお店に入る雰囲気
4	催事・イベントの内容
5	歩行者天国
6	品質・鮮度

お買物・サービスの満足度	
区分	割合(%)
満足	24.5
やや満足	35.0
どちらでもない	35.2
やや不満	4.8
不満	0.5

男女別でみても最も多く、また、年代別でみても各年代で第1位となっている。

増加したキャッシュレス決済の種類は?	
「クレジットカード」及び「電子マネー」が5割強	
「QRコード決済」26.5%	
「ネイバーフード決済」26.5%	

増加したキャッシュレス決済の種類	
内 容	割合(%)
クレジットカード	57.6
電子マネー	55.9
QRコード決済	26.5

キャッシュレス決済利用の変化	
区分	割合(%)
変化なし	70.9
増加した	28.3
減少した	0.8

一方、不満(やや不満)な点は「品揃え」が53.1%で最も多く、次に「接客・サービス」31.3%、「商品のオリジナル性」18.8%の順であった。(表9)

一方、不満(やや不満)な点は「品揃え」が53.1%で最も多く、次に「接客・サービス」31.3%、「商品のオリジナル性」18.8%の順であった。(表9)

消費増税後のキャッシュレス決済利用の変化は?	
「変化なし」が約7割	